

ご挨拶

岐阜県高等学校文化連盟会長 高橋 宗彦
(岐阜県立加納高等学校長)



令和4年度より岐阜県高等学校文化連盟会長を務めております、高橋宗彦でございます。本年度もよろしくお願いたします。

本連盟は昭和54年に演劇、吹奏楽、合唱、器楽、美術・工芸、書道の6専門部会から発足しました。その後写真、マーチングバンド・バトントワリング、吟詠剣詩舞、囲碁、民俗芸能、将棋、自然科学、放送、文芸、地域研究、小倉百人一首かるたの各部会が加わりました。

本年度、令和6年度は全国高等学校総合文化祭がここ岐阜県で開催されます。これに関連しまして令和2年度に器楽部会が器楽・管弦楽部会と日本音楽部会に改変され、令和3年度から新聞部会、弁論部会が立ち上がって、現在は合計20部会で活動しています。

本連盟は、毎年夏の全国高等学校総合文化祭への本県高校生の派遣、秋の岐阜県高等学校総合文化祭、各専門部会の個別の活動への支援を3本の柱としまして、文化系部活動の後押しをしております。

昨年度は新型コロナもほぼ終息し、第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）が開催されました。本県生徒は、写真部門で関商工高校写真部の生徒が最優秀賞・文部科学大臣賞、将棋部門で鶯谷高校のチームが男子団体戦で準優勝、女子団体戦でも第3位など素晴らしい活躍を見せてくれました。今年度はいよいよ『清流の国ぎふ総文2024』です。これに向けて遠隔地にも関わらず、岐阜県からかつてない多くの生徒諸君が鹿児島に向かい、現地の高校生からエネルギーを満タンに吸収して帰ってきてくれました。岐阜県の高校生の力が結集して、全国の仲間たちが集う文化の祭典を是非とも成功させてほしいと願っています。

岐阜県庁に設置されました全国高総文祭推進課のバックアップも受けながら、生徒実行委員会の皆さんは県内外のPRイベントに熱心に取り組んでいます。本番に向けてカウントダウンがあと僅かになった今、県内全ての高校生諸君が各会場で行われる大会のために準備をしてくれています。

文化系部活動の楽しさや意義深さを共有する47都道府県の高校生と共に文化の華を咲かせてくれることと期待しています。

当文化連盟では岐阜県の文化系部活動に力を尽くす生徒の皆さんをバックアップできるよう、平成23年度にHPを開設しました。当連盟のPRはもちろん、各専門部会の運営に必要なコンテンツも日々増やしておりますので、ご活用ください。

当文化連盟はこれからも県内高校生による文化の継承及び発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願申し上げます。